



横浜市立富岡小学校

学校だより 9月号



前期後半のスタートです

校長 浅野 修一

39日間という長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が富岡小学校に戻ってきました。コロナ前とは比較になりませんが今年は行動制限のない夏休みとなり、子どもたちにとっても昨年より行動範囲が広がり、新たな発見や経験ができたのではないのでしょうか。夏休みに入る前の朝会で、「今年の夏休みでしかできないことを見つけて取り組もう。」と、子どもたちに話しました。登校時や教室を巡回しているときに、どんなことに取り組んだのか聞くのを楽しみにしています。

一方で、この夏休み中にお子様やご家族が新型コロナに感染したという報告も十数件受けております。一刻も早いご快復をお祈り申し上げるとともに、ご家族の皆様のお力添えに心から感謝申し上げます。夏休み明けの初日となる本日登校できないお子さんが、快復後安心して登校できるよう学校としてもしっかりと対応してまいります。

さて、これから前期終了の10月7日までが前期後半となります。新型コロナウイルスもオミクロン株変異種の感染がまだ高止まり傾向で予断を許さない状況ですが、これまでどおり感染対策をしっかりと行いながら、前期末に向けての教育活動の充実を図ってまいりたいと存じます。

また今後も暑い日が続くことが予想されており、熱中症対策も忘れてはなりません。学校ではWBGT計による熱中症指数の計測を、毎日行っています。富岡小学校には、横浜市より気温や湿度などをもとに熱中症の危険度を表示できる「WBGT計」が配布されており、校庭と保健室では常時、体育館や特別教室などでは子どもの活動に合わせて計測を行っています。規定以上の暑さ指数が出た場合は、そこでの活動を中止します。併せて、神奈川県より発出される「高温注意情報」や「熱中症警戒アラート」の情報も参考に、対応を判断しています。学校でも日々の状況に応じて注意深く子どもたちを見守ってまいります。ご家庭でもお子様の体調についてご配慮いただきますようお願い申し上げます。

マスク着用につきましても、熱中症対策に関連して、これまでどおり登下校時に「しゃべらない」「適切な距離を保つ」などを遵守した上でマスクを外す場合があります。子ども本人が、息苦しかったり暑かったりする場合は「マスクを取る」よう指導しておりますのでお知らせいたします。

富岡小学校では長期休業明けの数日間、登下校指導を重点的に行っています。夏休み明けは久しぶりに学級の仲間と会えるうれしさから、気持ちが落ち着かないことが多くなります。登下校時のみならず、校内でも安全に過ごせるよう、各学年の実態に合わせて指導してまいります。なお、これまで続けてきました学校職員による各方面別の下校見守りについて、順次地域や保護者の皆様の見守りに戻していきたいと考えております。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご意見等がございましたらご遠慮なく学校までご連絡ください。

コロナ禍も先が見通せない状況が続いている中、これから秋にかけて4、5年生、個別支援級の宿泊体験学習や校外学習などの行事が予定されています。これまでどおり子どもたちの健康と安全に留意しながら、子どもたちにとってよりよい教育活動ができるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。